

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	高齢化が進んでいることもあり、施設内で過ごすことが多くなりがちである為、外部との関わり(地域との交流)を少しずつ増やしていけるようにする。	地域との交流の機会を少しずつ増やしていけるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の散歩の中から近隣住民や農家の方との関係作り ・月1回の個別外出や施設内行事を確実に実施する。 ・家族へ協力依頼し希望者の外出の機会を増やす。 	6ヶ月
2	3	グループホームでの活動、取り組みを充分にご家族に伝えきれていないが、ご家族の意向を十分に汲み取り、協力を得ることが出来るようにしていく。	ご家族の意向をグループホームの運営により反映できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議録を、ご利用者家族にも配布し、GHの運営に関心をもっていただく。 ・家族向けのアンケートを実施する。 	12ヶ月
3	9	日々変化していくご利用者様に対し一人ひとりの認知症による心身状態を理解した上でのケアがこれからも必要とされており、ご利用者の気持ちを把握できるようにしていく。	研修や勉強会などで得た情報を知識に変え、本人本位のケアに活かしていけるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修や週1回行われる勉強会への参加を継続する。 ・センター方式などのツールを活用し、ご利用者の思いや希望を把握する。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。